

【共通の設問】次の傍線部を識別せよ。(答え・解説は解答編)

【第1部】基礎編 (Q1～Q20)

Q1.

花咲かむず。

Q2.

われ都へ帰らむず。

Q3.

え行かず。

Q4.

雨降らむず。

Q5.

必ず仕遂げむず。

Q6.

物も言はず。

Q7.

雪解けむず。

Q8.

われ討たむず。

Q9.

つゆ知らず。

Q10.

世は乱れむず。

Q11.

出家せむず。

Q12.

え見ず。

Q13.

鳥鳴かむず。

Q14.

われ文書かむず。

Q15.

帰らず。

Q16.

潮満たむず。

Q17.

われ京に上らむず。

Q18.

名をば知らず。

Q19.

日暮れむず。

Q20.

われひとり留まらむず。

【第2部】標準編（Q21～Q50）

Q21.

敵やがて寄せむず。

Q22.

いざ、参らむず。

Q23.

命賭けて守らむず。

Q24.

舟沈まむず。

Q25.

はや帰らむずぞ、よき。

Q26.

一言も違はず。

Q27.

火燃え広からむず。

Q28.

今宵はここに泊まらむず。

Q29.

いざ、もろともに行かむず。

Q30.

月隠れむず。

Q31.

われ、かくと告げむず。

Q32.

つひに従はず。

Q33.

春やがて来たらむず。

Q34.

しばしここに留まらむず、いかに。

Q35.

物の怪あらはれむず。

Q36.

我こそ先に参らむず。

Q37.

え答へず。

Q38.

堤やがて崩れむず。

Q39.

いざ、君も来むず。

Q40.

必ずこの恩報いむず。

Q41.

風吹かむず。

Q42.

いざ、歌詠まむず。

Q43.

露ばかりも疑はず。

Q44.

雷鳴らむず。

Q45.

われ先立たむず。

Q46.

はや出でむず、遅きはわろし。

Q47.

われ敵討たむず。

Q48.

露も惜しまず。

Q49.

雲やがて隠れむず。

Q50.

いざ、もろともに眺めむず。

【第3部】 応用編（Q51～Q80）

Q51.

京へ行かむずる人を待つ。

Q52.

さもあらむずれば、用意せよ。

Q53.

花やがて散らむず。

Q54.

われ命を捨てむず。

Q55.

え逃れず。

Q56.

死なむずる身なれば、惜します。

Q57.

雨降らむずれば、傘用意す。

Q58.

敵つひに勝たむず。

Q59.

いかでか都へ帰らむず。

Q60.

物言はむずる気色なり。

Q61.

つゆ違はず。

Q62.

世の中変はらむず。

Q63.

我こそ君に仕へむず。

Q64.

来むずる人もなし。

Q65.

浪高く立たむず。

Q66.

われ髪下ろさむず。

Q67.

え堪へず。

Q68.

鐘やがて鳴らむず。

Q69.

いざ、もろともに帰らむず。

Q70.

さ思はむずれば、かく言ふなり。

Q71.

雪深く降らむず。

Q72.

われみづから申さむず。

Q73.

つひに姿見えず。

Q74.

風やがて静まらむず。

Q75.

われ必ず参らむず。

Q76.

来むずることあらば、知らせよ。

Q77.

人々みな集まらむず。

Q78.

いざ、もろともに参らむず。

Q79.

え言ひ出ださず。

Q80.

花咲かむずれば、見に出でむ。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

Q81.

主上やがて位を去らむずと、人々嘆きあへり。

Q82.

われ、いかにもして本意遂げむず。

Q83.

かかること世にあらず。

Q84.

軍勢ども夜討ちに攻め寄せむずと聞こゆ。

Q85.

今は限りと思へば、形見に書き置かむず。

Q86.

露の消えむずる命を惜しむ。

Q87.

さらに承引せず。

Q88.

潮の満ちむずれば、舟出ださむ。

Q89.

いざ給へ、もろともに月見むず。

Q90.

この子おとなにならむずるさま、思ひやらる。

Q91.

我ら皆ここにて討ち死にせむず。

Q92.

敵は今宵こそ寄せむずれ。

Q93.

つゆばかりも心変はらず。

Q94.

命あらば、また逢はむず。

Q95.

雨やがて降らむずる気色なり。

Q96.

われひとり都に留まらむず。

Q97.

この国土みな海に沈まむず。

Q98.

いかにしても、え避らず。

Q99.

さこそ思はむずれ、口には出ださず。

Q100.

いかにもして都に帰り着かむずと念ず。